



文部科学省 第15回 中央教育審議会 教育振興基本計画部会

NPO法人「育て上げ」ネット
理事長 工藤 啓

●育て上げネット

Vision

目指すべき社会

すべての若者が将来に希望を持てる社会

Mission

果たすべき使命

若者が抱える困難や課題を解決し、若者と社会をつなぐ

Value

提供すべき価値

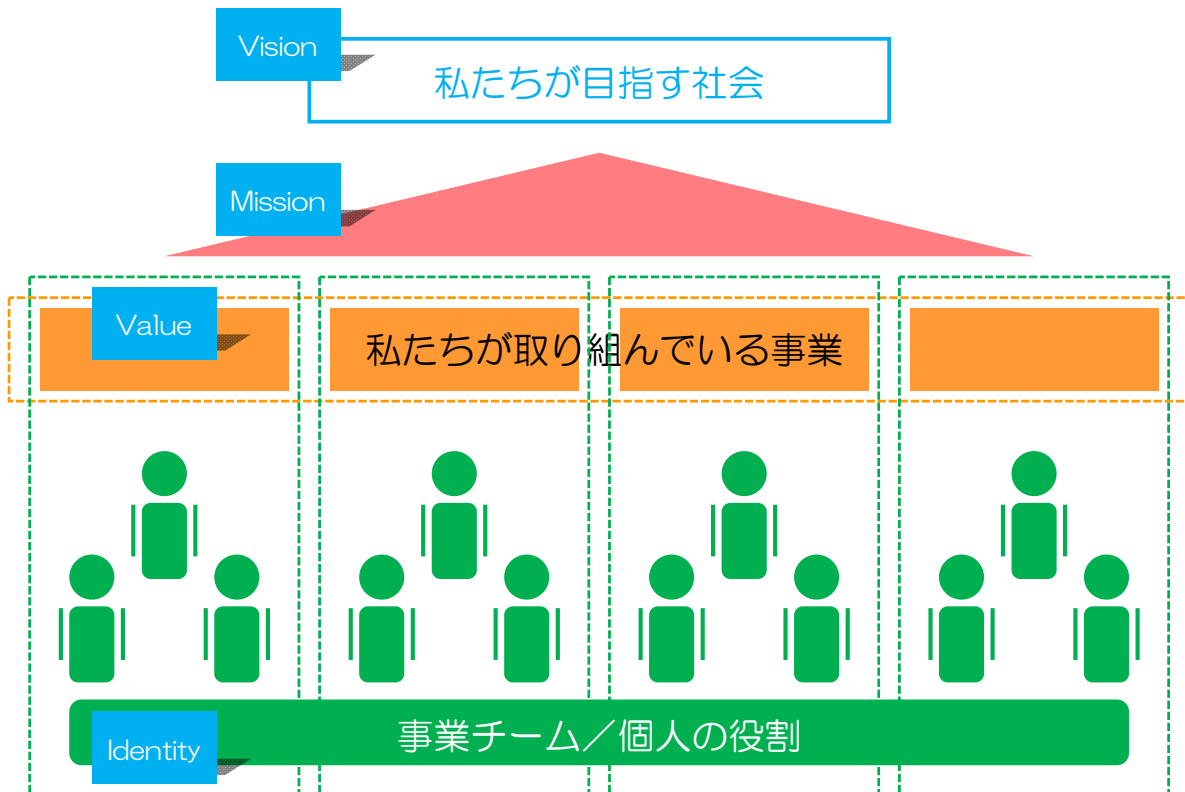
持続的な社会参加と経済的自立

Identity

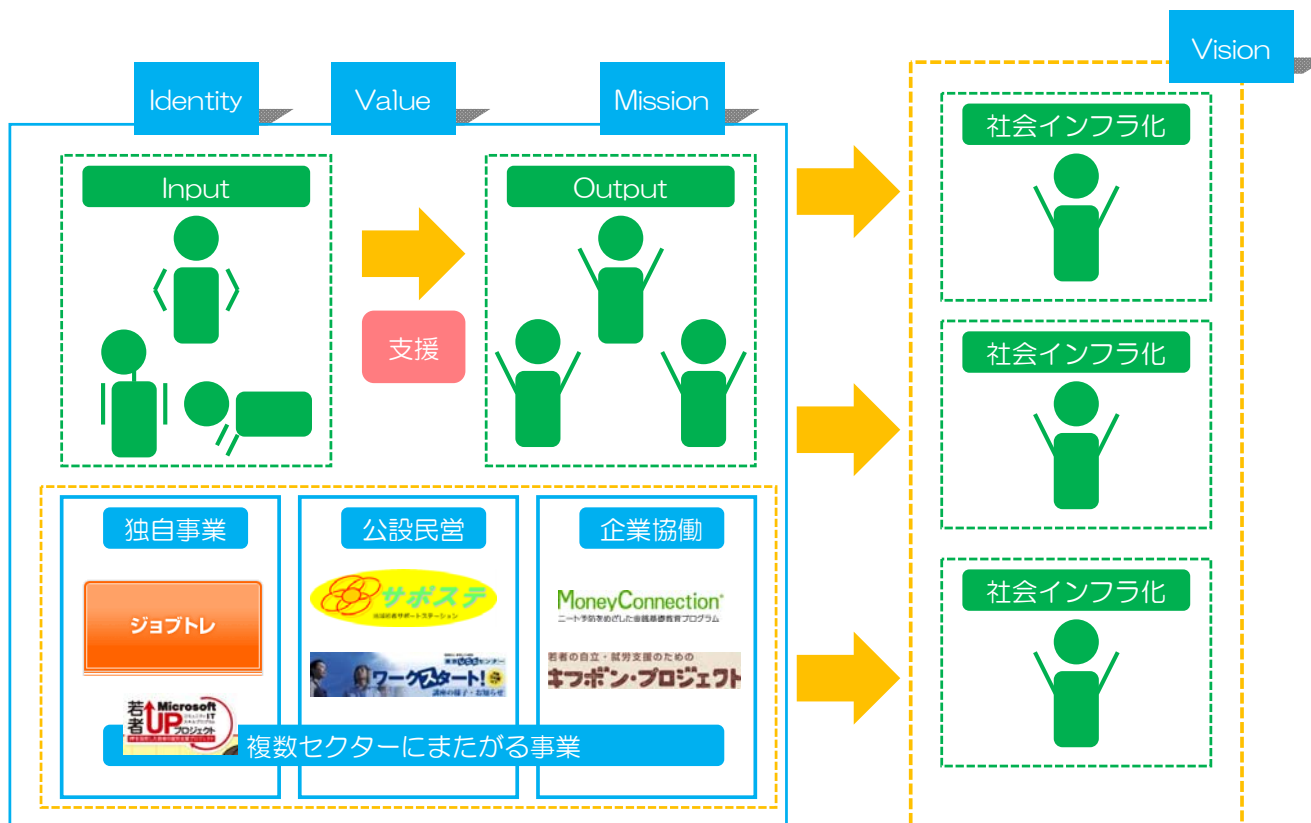
私たちは支援者である

- 私たちは、若者の自立を「社会投資」と考え、将来の「社会リターン」となることに強い信念と揺るがない志を持って活動する**支援者**である。
- 若者の課題解決を妨げる障壁を乗り越え、未知なる課題に対しては解決手段を創造する**支援者**である。
- 自己犠牲・他者依存に依らない自立的な組織を築くための「社会性」と「事業性」の両立を追求するべく、常に創意工夫を怠らない**支援者**の集合体であり続ける。

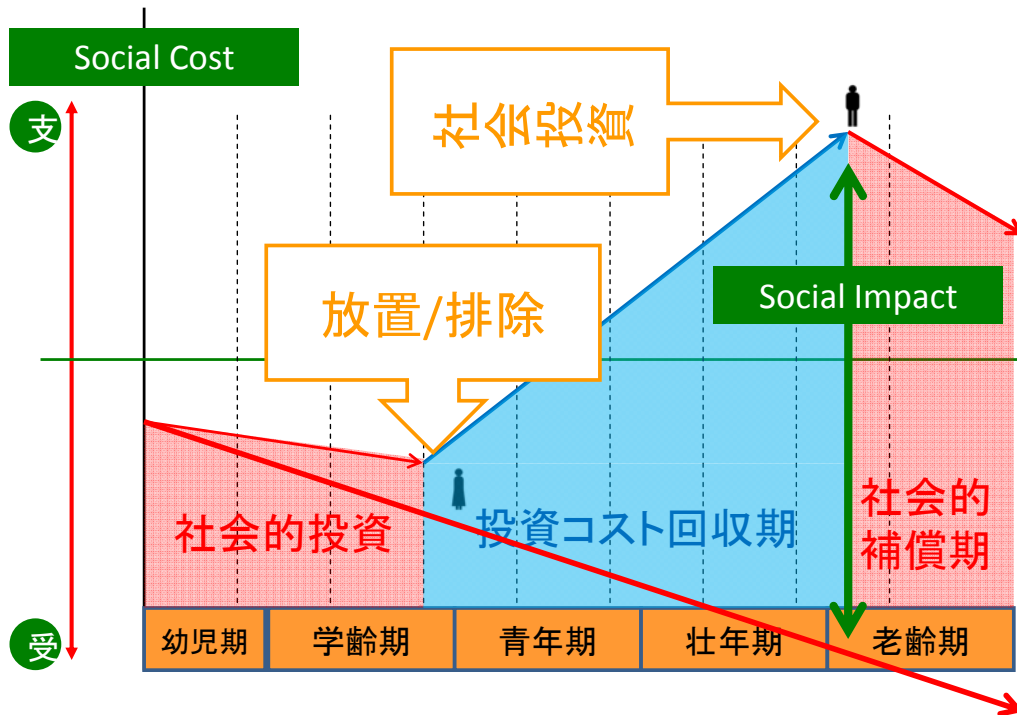
●各所・個人／役割の把握



●育て上げネットとは②



若者の自立支援＝社会投資



主要事業

若者就労支援事業

保護者支援事業

教育支援事業

川下・対処型 支援事業

川上・予防型 教育事業

Scale-Out / 社会インフラ化

価値観を創る“ホントの情報” 教育事業



M・P NPO法人「育て上げ」ネット

【 NPO法人「育て上げ」ネットが考えるキャリアとは

「育て上げ」ネットが考えるキャリア教育

キャリアとは……
「それぞれの生き方」であると、「育て上げ」ネットは考えます。
それは、決められたレールを守ることもなく、
スキルを積んでよりよい年取をめざすこともなく……。
自分自身が、「情報」をもとに真摯に考え、
納得し、道を選択しながら生きていくこと。



「キャリア教育」とは考える材料となる情報を提供すること。



若者たちが進んでいく道は、分かれ道があったり、
山があったり、川があったり。
でも、この複雑な道すじは、今の若者の視点からは見えない。
分厚く閉ざされたカーテンを「ほんの少しだけ、ちらりとめくり、
ホラこんな道なんだよと見せてあげる。
これが、「育て上げ」ネットの考える キャリア教育です。

【 Connectionシリーズとは

「育て上げ」ネットの役割とは

支援

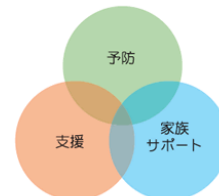
若者の「社会参加」と「自立」を支援し、
「働くこと」と「働き続ける」チカラを育成する

予防

中・高校生、中退生など大人になる手前の青少年に対して、
将来的に自立的な人生を送れるよう、
「予防」＝将来に対して考えるための情報提供を行う。

家族サポート

保護者／家族へのサポート実施。



Connectionシリーズにおける役割

予防

中・高校生、中退生など大人になる手前の青少年に対して、
社会に出る(自立的な人生を送る)ための「情報」を
伝えることで、知らないがために社会から排除されることを防ぎます。



将来に、「排除」されないために、「孤立」しないために、
あらかじめ必要な、ホントの情報を届けていこう！

CONNECTION SERIES

MoneyConnection* 金銭基礎教育プログラム
(新生銀行グループ)

生きてくには
お金がかかる。
将来を遊ぶのにも
お金がかかる。
だから子供たちに
伝えたい。
お金の本当のこと。



Money Connection*がお手伝いします。

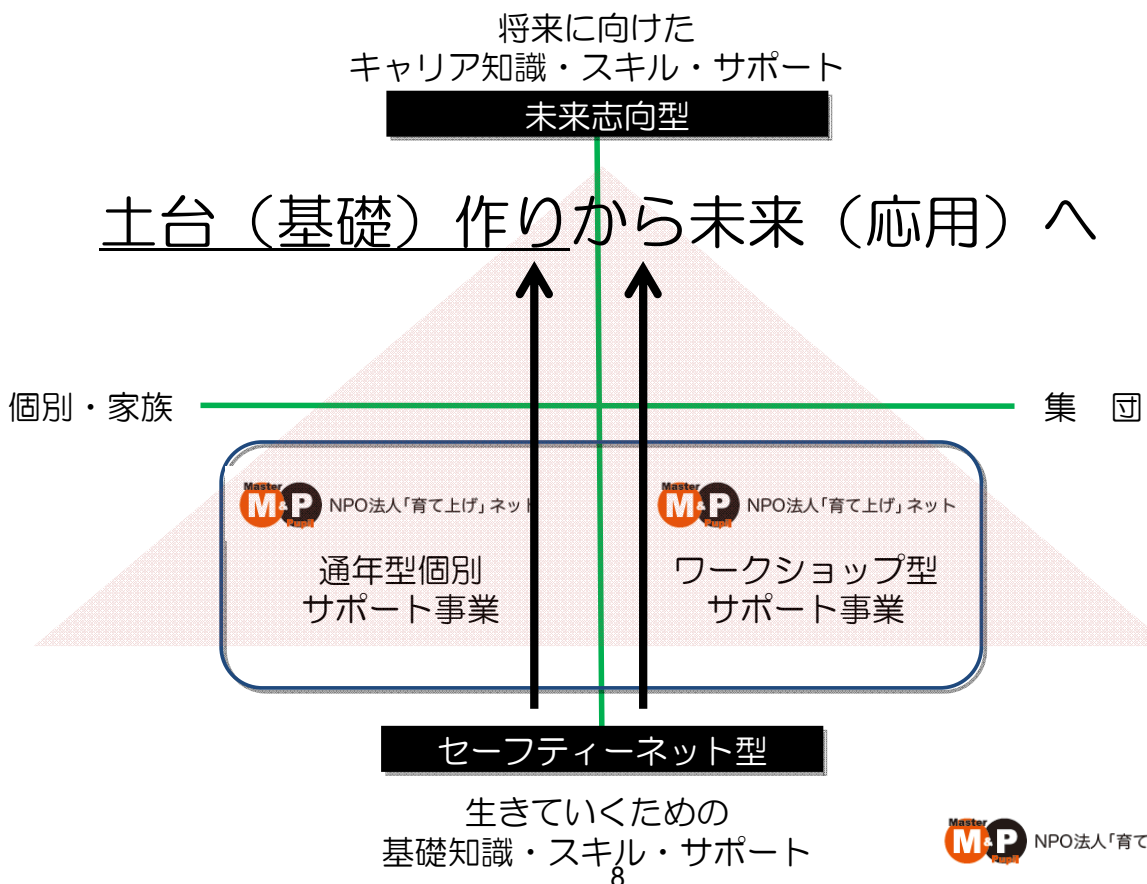
Sample (about 3min)



私らしく
イキイキとした
人生を送るために



Life Connection
for WOMAN





私たちの取り組み例

- ・ 行政・企業と連携しセーフティーネット型の教育コンテンツ構築
- ・ 基礎（土台）作りを要する生徒に対応できる講師人材の育成
- ・ 全国のNPOとパートナーシップを結び、要請のある学校に対応
- ・ 原則としてワークショップ型で行い、教員への育成サポートも

- ・ 通年で学校から「講座」時間をいただき、教員と協議の上
“その生徒たち”に必要な講座を展開
- ・ 始業式、卒業式、体育祭、放課後（部活）など、学校の節目
生徒との関係性を構築できるイベントに参加

- ・ 通年で学校と関わり、教員と協議の上、特に困難や課題を抱える
生徒と保護者（保護者のみもある）と関わって生活・進路を
複数の専門性を有するスタッフでサポート
- ・ 卒後（中退後）も切れ目なく、生徒（保護者）をサポート



ご提案 ①

進路多様校の生徒は、自立的に生きていくための
リソース（情報・資金・ネットワーク）が少ない乏しい

将来を考える、困ったときに活用可能な
社会的なリソース / 適切な情報の提供が重要

+

彼ら/彼女らの状況を踏まえて情報提供が
できる人材の育成が急務

セーフティーネット型の
教育コンテンツの開発と人材育成が不可欠
→ 官民協働と外部性の確保

ご提案 ②

学校では、3月31日までの“結果”が求められるが
生徒の人生に切れ目は作れない

卒後（中退後）に切れ目のないサポートができる
組織・機関が在学中から関わらなければならない

+

学校（教員）との協働体制を敷き、先生方だけでは
解決が難しい課題を抱えた生徒（保護者）への対応

就職支援のみならず“自立支援”ができる
組織および人材が恒常的に学校内に配置することで
学校内外の状況を踏まえたサポート体制を敷く

ご提案 ③

生徒（保護者）が抱える課題／困難は複雑多岐であり
一個人の外部者（専門家）だけでは対応が不可能

複数の専門性を持つ人間が学校（生徒）と関わる

or

複雑多岐に渡る課題や困難に対応できる
ネットワークを有する組織が在学中から関わる

複数校に複数名がチームで配置される体制の整備
Or
複数名の専門家を派遣できる組織が複数校をサポート